

3D 宇宙旅行

3D 宇宙旅行上映グループ（兵庫県立舞子高等学校天文気象部）

1. はじめに

「はやぶサ2号機のスイングバイ成功」「日本人宇宙飛行士の国際宇宙ステーションでの活躍」など宇宙や天文に関するニュースも多く、大勢の方が天文や宇宙に興味関心を持たれているように感じます。我々の生活と天文は切っても切れない関係にあり、多くの方々に接していただくために、Mitakaによる、3D「宇宙旅行」の上映を行うことにしました。

2. Mitaka の上映

Mitaka は、国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクトで、地球から宇宙へ宇宙空間を自由に移動して、時には、惑星や恒星に立ち寄りながら、宇宙の様々な構造や天体の位置を見ることができます。具体的には、偏光メガネをかけ、3D のカラー映像を見て、目の前に迫ってくるような迫力のある映像をご覧ください。解説や操作は、「星空案内人」の資格を持った生徒が行います。今後も、校内だけでなく、小学校やコミュニティセンターなどで、社会貢献事業の一つとして上映を予定しています。

3. 上映に当たって（原稿・読み手・操作の注意点・工夫点）

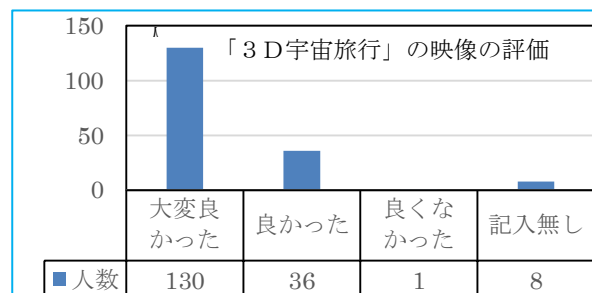
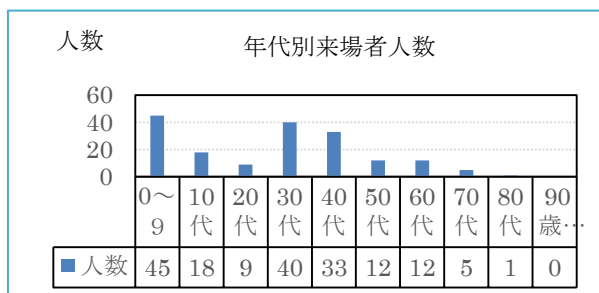
- (1) **原稿作成** ① なるべく、小さな子どもにもなじんでもらえるように、わかりやすい言葉で作り難しいことはできるだけ避けて作った。② 観客に呼びかけるような・問いかけるような箇所を複数用意し、観客の反応を感じ取れるようにした。
- (2) **上映中** ① 原稿を読むとき、抑揚をつける。星や星座の固有名詞を読むときは、聞き取りやすいように、前後に少し間をおいて読む。② 原稿は同じでも、日ごと時間ごとに地球・月・惑星の位置が変化しているので、その時の位置関係をうまくつかんでコントロールする。③ 操作は手動のため、回転・前後・ズーム等のスピードが、同じ動きになるように苦労した。

4. 上映記録（校外）2015年8月以降

- 8月1日（小野市「ゆぴか」交流センター）20名（2回上映）
- 10月24日（西宮ガーデンズ）175名（45名ずつ4回上映）
- 1月30日（西宮ガーデンズ）134名（45名ずつ4回上映）
- 2月6日（小野市「ゆぴか」交流センター）投稿日以後



5. 西宮ガーデンズ アンケート結果（10月24日）



謝辞

この度の上映に当たり、「星空案内 in 西宮ガーデンズ」のスタッフ、「ゆぴか」のスタッフのみなさんにご協力いただいたことに感謝いたします。